

統合システム運用管理

運用統合

運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration のご紹介

～オンプレミスとマルチクラウドのハイブリッド環境における統合的な運用管理を実現～

株式会社 日立製作所

Contents

- 運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration の概要
- コンセプト
- できること
- JP1製品との連携によるトータルソリューション
- システム構成例とサービスメニュー

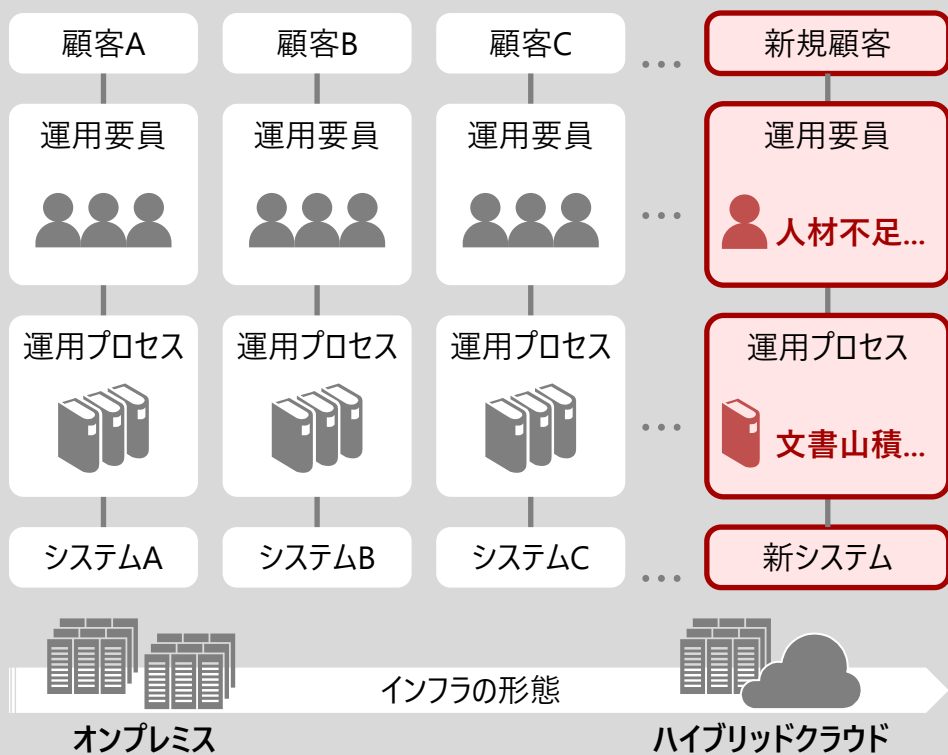
各種システムのIT運用を統合、運用全体の最適化を実現。
DXによるビジネスの成長を支え続けるために。

システム運用全体の効率と質を高め
変化に即応できるプラットフォームで
継続的な改善プロセスの確立を
サポートします。

運用プロセスの標準化と継続的改善の促進によって『システム横断の運用体制づくり』を支援し、ビジネスの変化・拡大に即応できる運用基盤の確立をめざします。

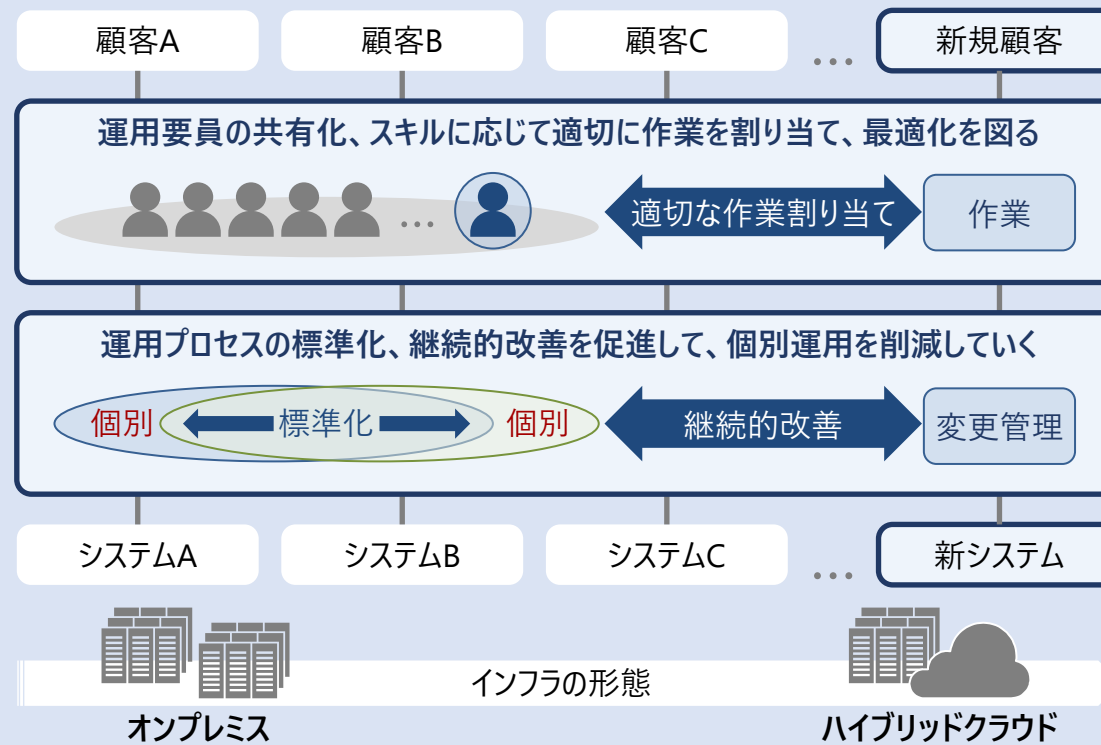
現在の状況

サイロな運用、縦割り体制がビジネス拡大の障壁となる



めざす姿

運用プロセス、運用体制の改善によりビジネス拡大に寄与



コンセプト

将来構想を含みます。

- 運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration のコンセプト

システムごとにサイロ化した運用を統合し、システム全体で運用の効率向上と品質確保の両立を実現
Operations as Code* とAIを活用したコードの自動生成により、運用の標準化・自動化と継続的な改善を促進

システムを横断したITSM、運用自動化、業務アプリケーションのプラットフォーム

業務のDX化

業務フローのシステム化に必要な
ワークフローやデータベースを提供、業務の
DX化を推進

顧客満足度の向上

窓口の一元化、対応状況の可視化、
ワークフローの関連付けにより
回答時間の短縮を実現

運用の標準化・自動化

ITILに準拠した運用管理プロセス、
ワークフローによる自動化の実現
AIによるナレッジの有効活用

システム全体の運用の効率向上と品質確保の両立を実現
AIで運用フローと自動化処理をスピーディーに生成



オンプレミス

業務システム



ハイブリッドクラウド



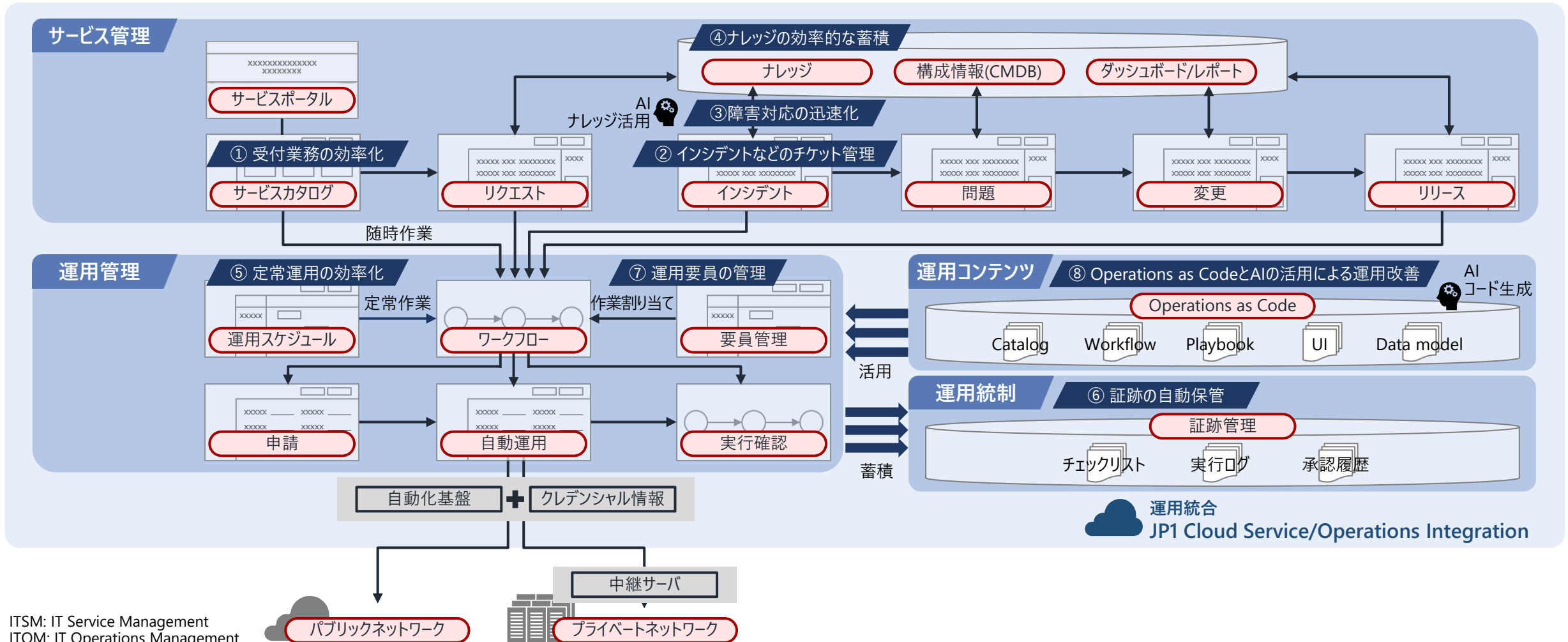
マルチクラウド

* 運用作業の自動化、審査・承認フロー、運用で必要となるデータレコードなども含めた運用シナリオをコード化し、適宜、効率性および信頼性を向上させる手法。
ITSM: Information Technology Service Management ITIL: Information Technology Infrastructure Library

できること

- 運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integrationでできること
- 【①受付業務の効率化】 サービスカタログの活用で、依頼や申請の受付業務を効率化
- 【②インシデントなどのチケット管理】 ITIL管理プロセスごとのチケットおよび実施作業の一元管理
- 【③障害対応の迅速化】 システム障害発生時の問題解決の迅速化
- 【④ナレッジの効率的な蓄積】 インシデントチケットからのナレッジの自動生成・更新
- 【⑤定常運用の効率化】 日次、月次など定常作業の管理を効率化
- 【⑥証跡の自動保管】 証跡（エビデンス）の自動保管で管理漏れを防止
- 【⑦運用要員の管理】 運用要員のスキルや経験値にもとづいた適切な作業割り当て
- 【⑧Operations as CodeとAIの活用による運用改善】 業務内容やビジネスの変化に応じた速やかな運用改善

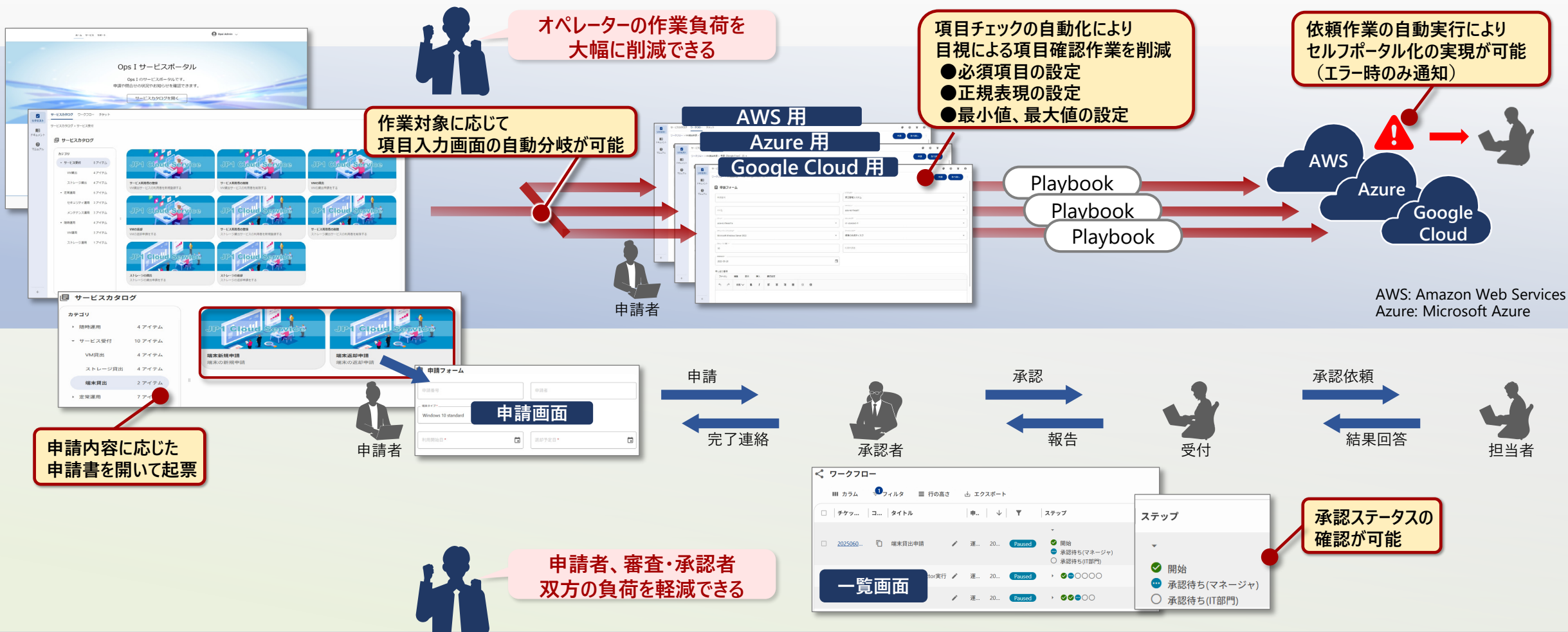
JP1 Cloud Service/Operations Integration (Ops I) は、ITSM + ITOMの運用作業全体をカバーできるので、依頼作業のカタログ化、自動化、作業画面のカスタマイズ、証跡管理までをOne Platformで実現できます。



ITSM: IT Service Management
ITOM: IT Operations Management

サービスカタログの活用で、依頼や申請の受付業務を効率化

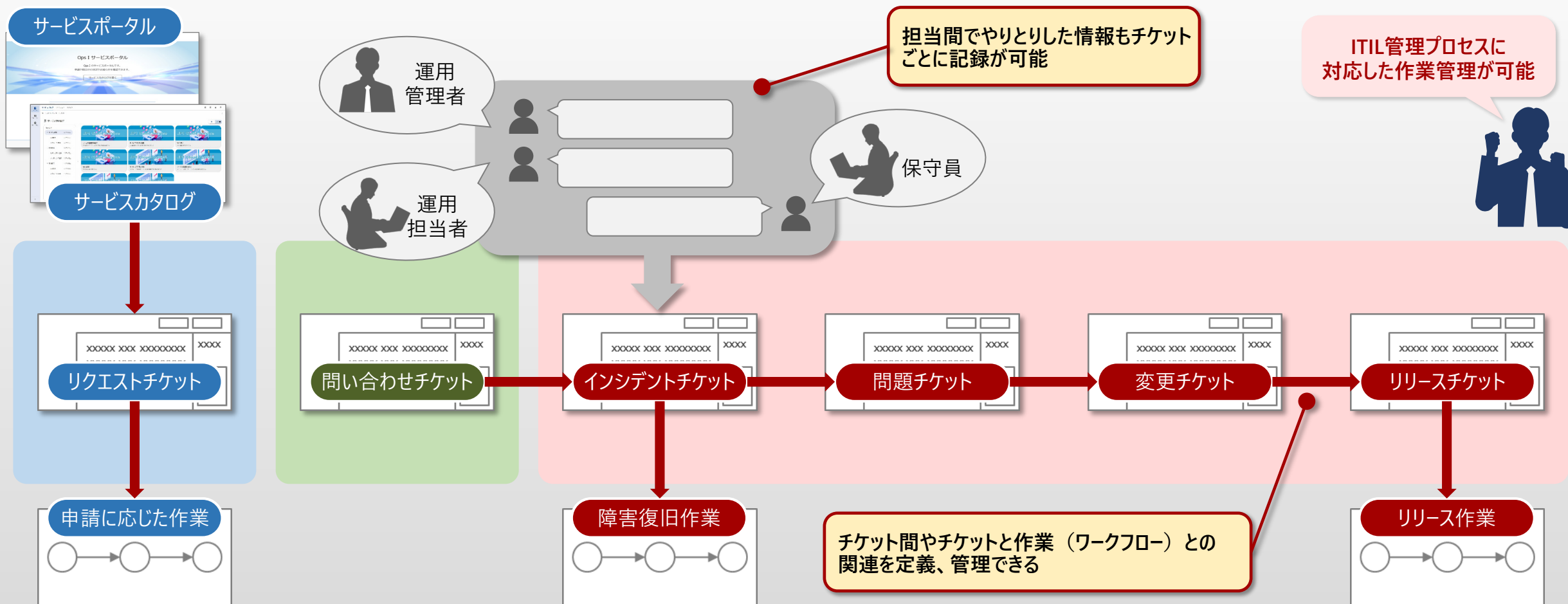
各種サービスに対する依頼や申請を、サービスカタログを活用して統合。作業対象に応じた画面の自動分岐、項目チェックの自動化、作業の自動実行、申請の容易化や対応状況の可視化により、受付業務の大幅な効率向上が図れます。



ITIL管理プロセスごとのチケットおよび実施作業の一元管理

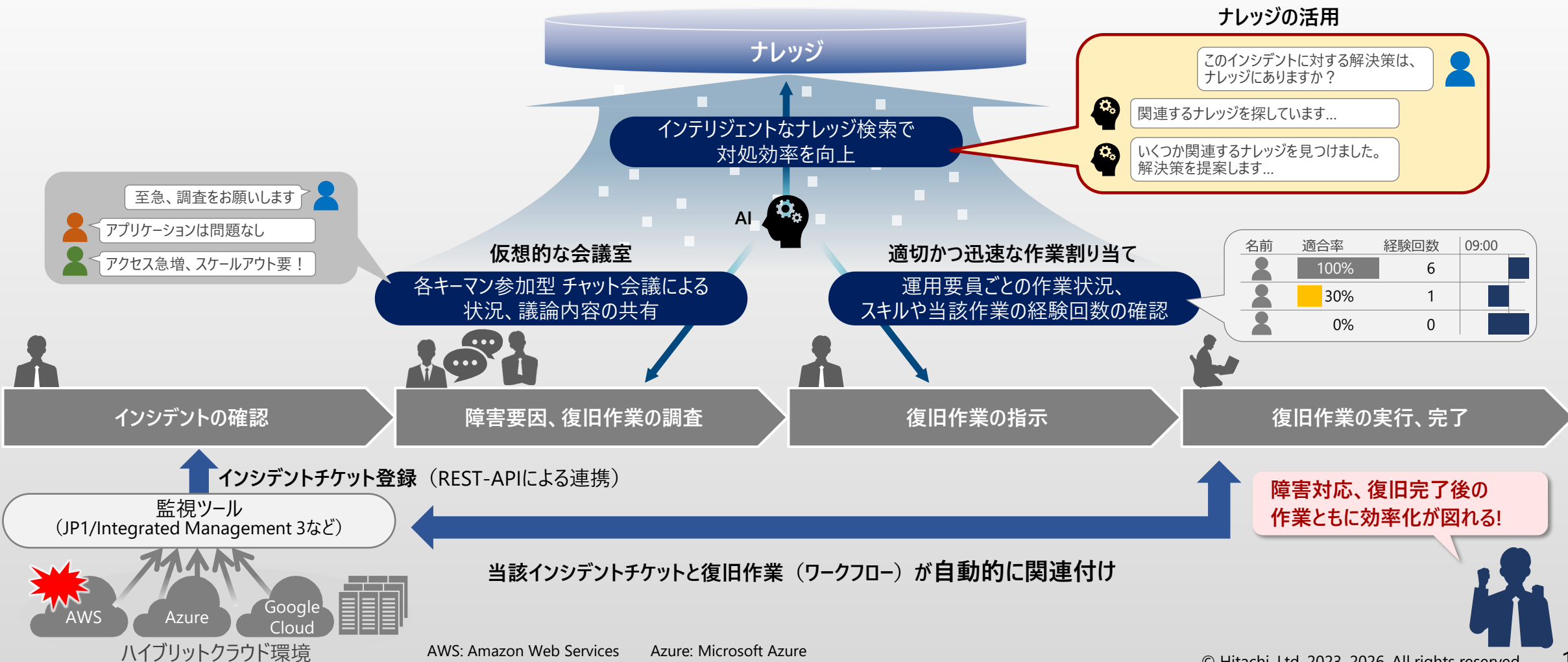
ITIL管理プロセスごとのチケット間の関連、チケットで実施した作業（ワークフロー）との関連の定義、管理ができます。また、担当間でやりとりした情報もチケットごとに記録が可能です。

ITIL: Information Technology Infrastructure Library



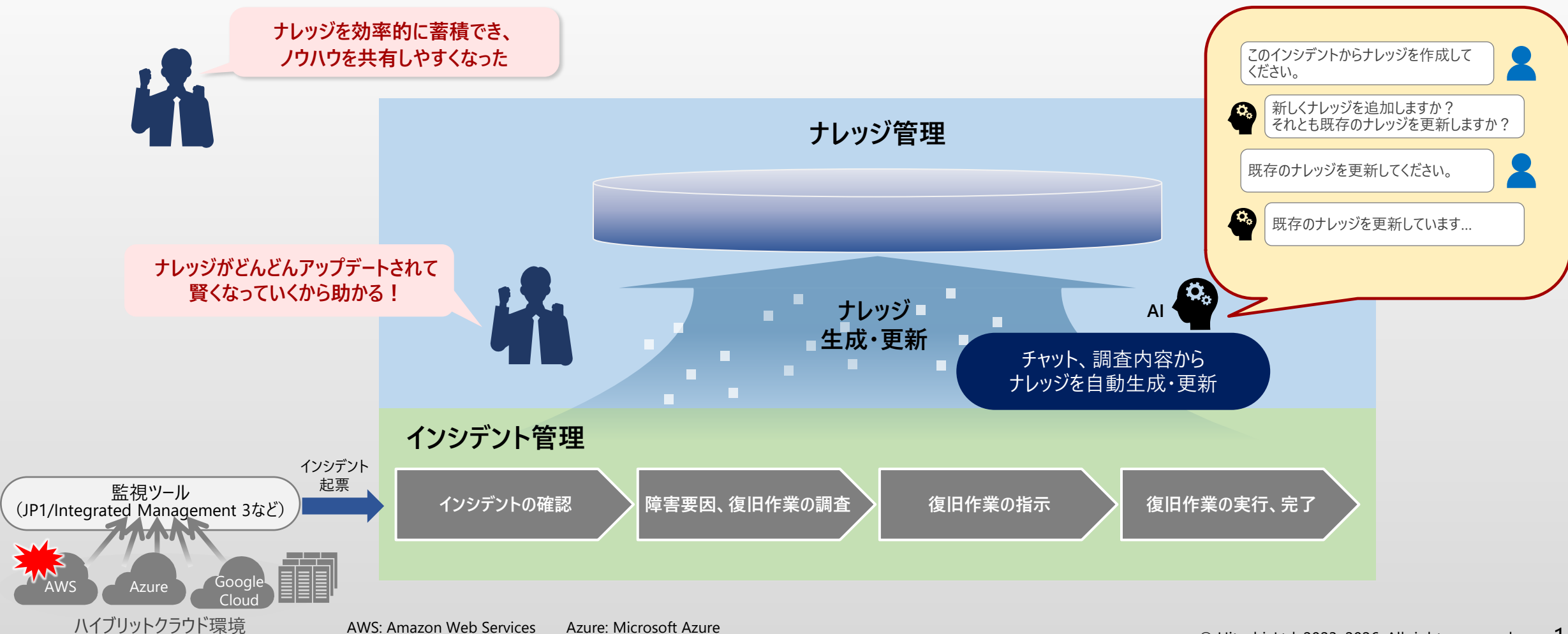
システム障害発生時の問題解決の迅速化

発生した問題をインシデントとして登録し、インシデントチケットと復旧作業（ワークフロー）の関連付けを自動化。AIによるインテリジェントなナレッジ検索でナレッジの効率的な活用を促進し、問題解決のさらなる迅速化が図れます。



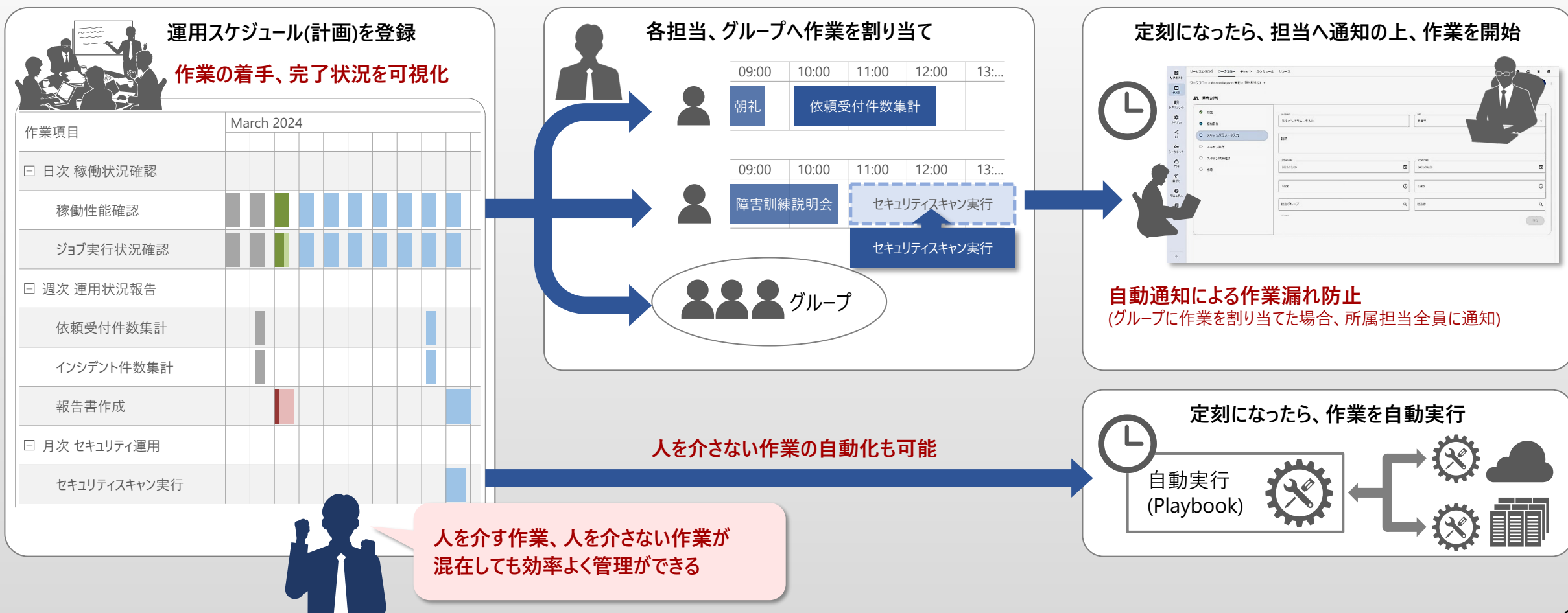
インシデントチケットからのナレッジの自動生成・更新

AIを活用して、インシデントチケットからナレッジの自動生成・更新ができます。ナレッジを効率的に蓄積でき、使えば使うほどインテリジェントに進化する、ナレッジ管理を実現します。



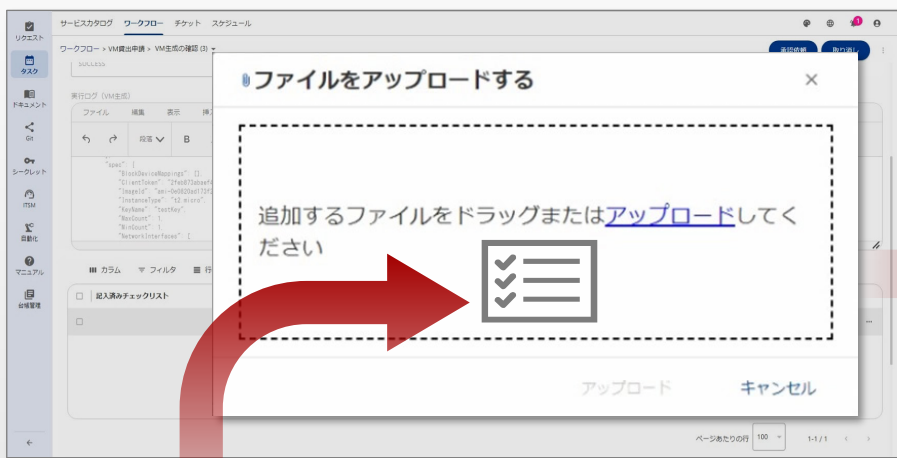
日次、月次など定常作業の管理を効率化

手動運用も自動運用も、運用スケジュールを登録して、作業の着手・完了状況を可視化できます。作業開始の自動通知や作業の自動化により、作業漏れの防止や作業の効率化が図れます。



証跡（エビデンス）の自動保管で管理漏れを防止

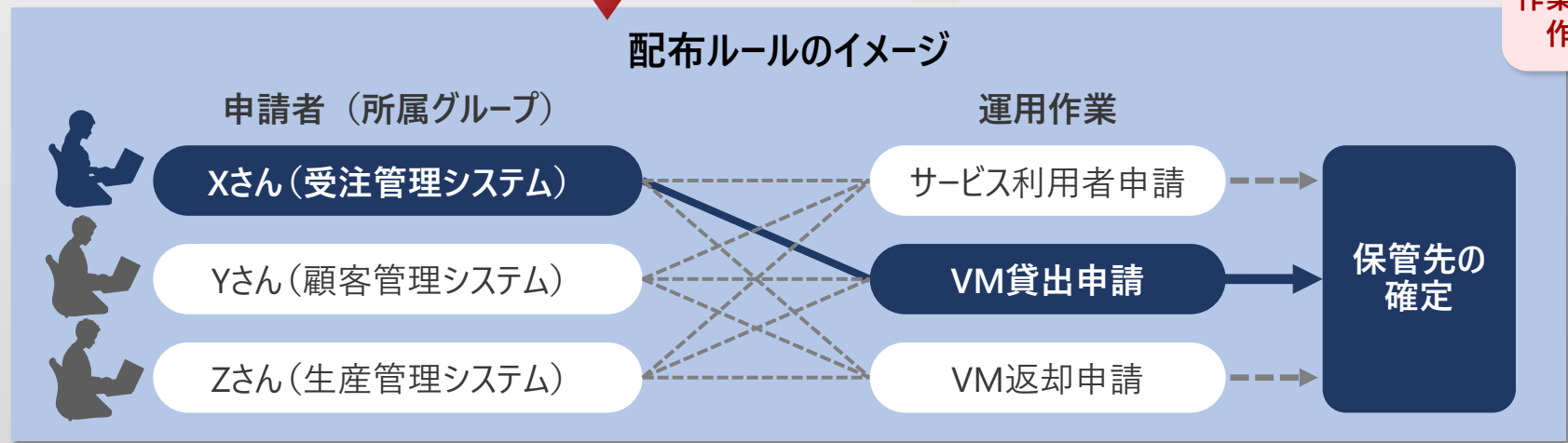
チェックリストなどの証跡を、あらかじめ定義した配布ルールに従って所定の場所に自動保管。担当者は、ファイルをアップロードするだけで保管先を意識する必要はありません。管理漏れを防止し、担当者の負担を減らします。



「申請者」や「運用作業」に応じた保管先の「配布ルール」を定義しておくことで、所定のフォルダに自動保管



保管先を意識することなく、作業証跡ファイルをアップロード



作業証跡の管理漏れ、作業ミスがなくなる

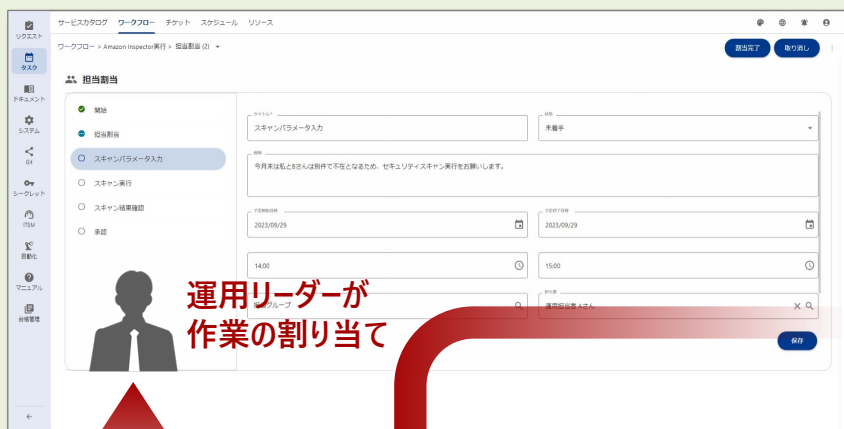


運用要員のスキルや経験値にもとづいた適切な作業割り当て

作業に必要なスキルを要した適切な要員を検索して作業を割り当てることができます。要件となるスキルの「適合率」、対象作業の「経験回数」、要員ごとの「作業状況」を確認して、適切に作業を割り当てます。

実施する作業

実施する作業に特定のスキルを要する場合、適切な要員を検索して対象作業を割り当てることが可能



担当者に作業の割り当てを通知



要員の選定

対象作業で必要となる「スキル」に対する「適合率」、対象作業の「経験回数」、要員ごとの「作業状況」を確認して、適切な要員を選定できる

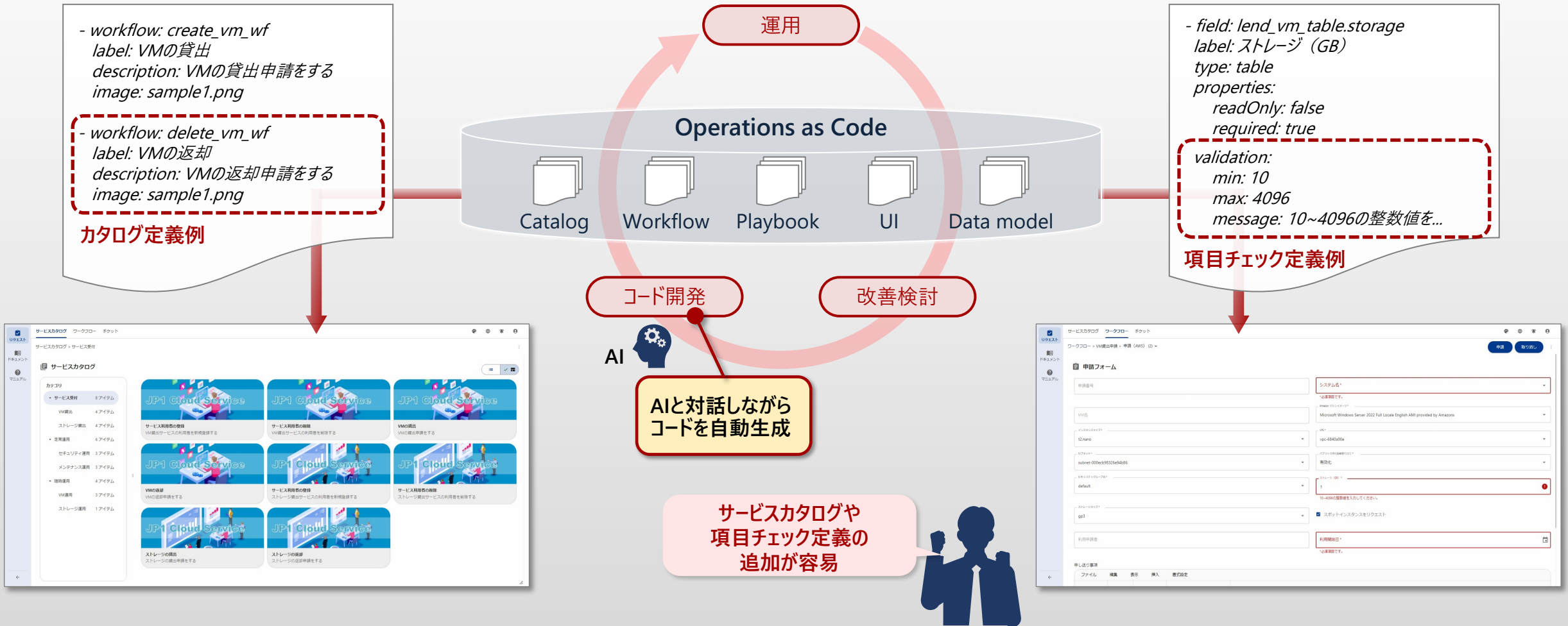


対象作業の有識者なので安心して任せられる

運用要員プール

業務内容やビジネスの変化に応じた速やかな運用改善

サービスカタログ、ワークフロー、UIなどの運用コンテンツを統一化されたコードで集約管理。AIを活用したVibe Coding*による開発が可能。高度な自動化で、安定的かつ持続可能な運用改善をスピーディーに実現できます。

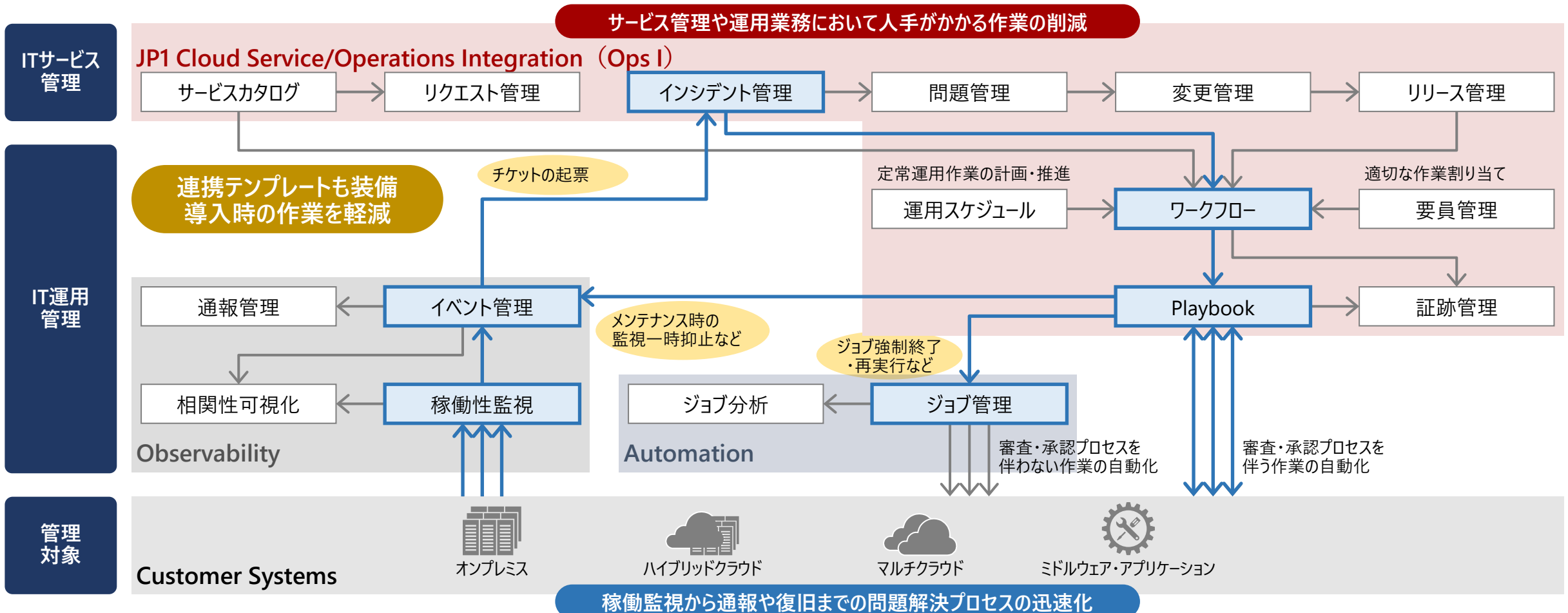


* Vibe Coding (パイブコーディング) : 自然言語で目的を伝え、AIにコード生成を任せる開発手法

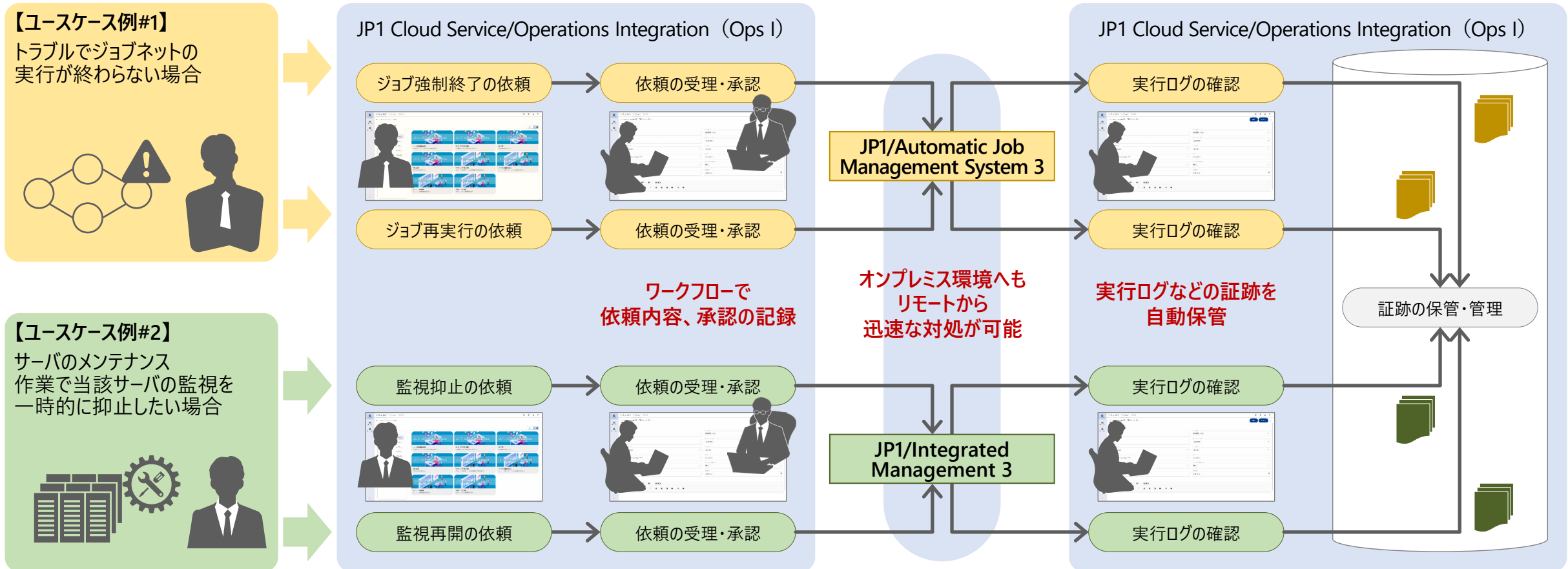
JP1製品との連携によるトータルソリューション

- ITサービス管理だけでなくIT運用管理を含めたトータルな効率化を実現
- トータルソリューションのユースケース例

JP1には、各種稼働データの相関分析・可視化を行う『Observability』、ジョブの安定稼働を支える『Automation』があり、JP1 Cloud Service/Operations Integration (Ops I) と組み合わせ、監視の見える化、通報の自動化などを含めたトータルソリューションの提供が可能です。



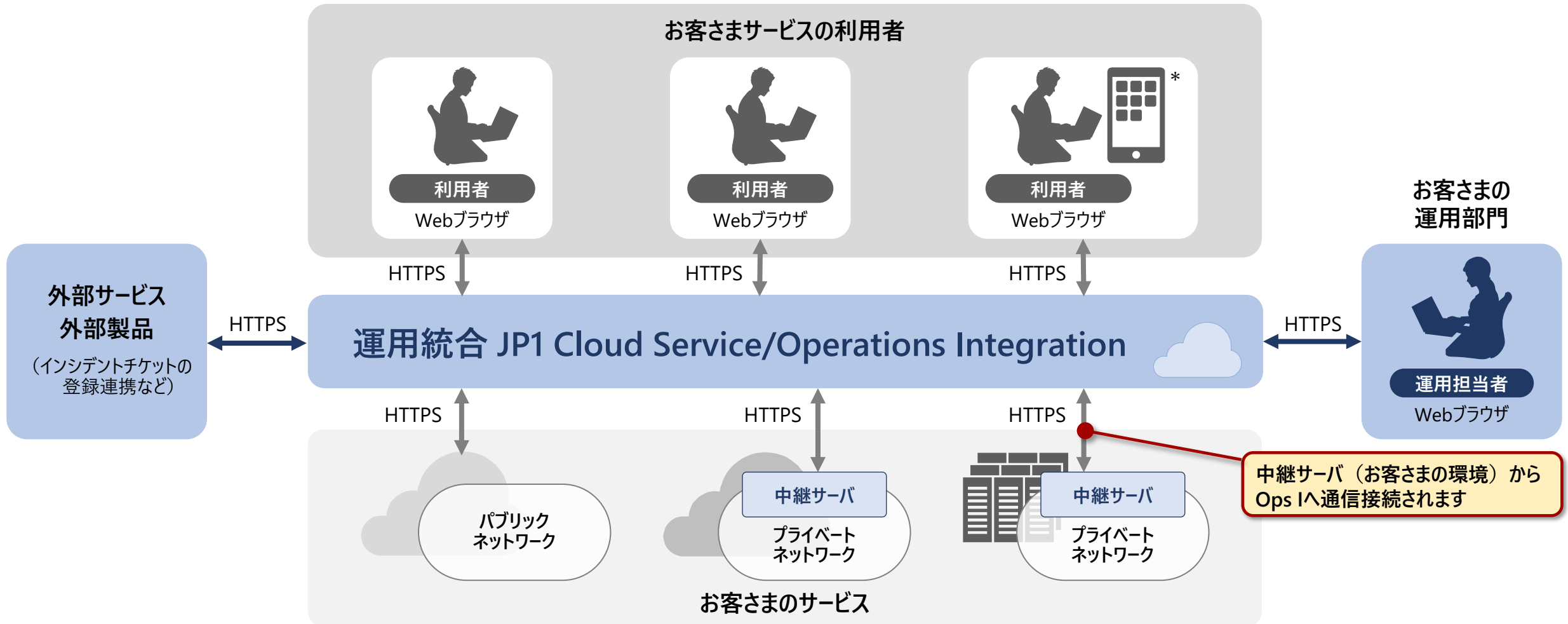
トラブルでジョブネットの実行が終わらない場合や、サーバのメンテナンス作業で当該サーバの監視を一時的に抑止したい場合など、臨時で発生する運用作業の依頼や作業プロセス、JP1製品へのリモートアクセス制御、実行ログやチェックリストなどの証跡保管をJP1 Cloud Service/Operations Integration (Ops I) で統合管理することにより、運用の統制が図りやすくなります。



システム構成例とサービスメニュー

- システム構成例
- サービスメニュー

運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration を導入する場合のシステム構成は、次のようになります。



* 多要素認証 (MFA: Multi-Factor Authentication) をご利用の際は、スマートデバイスおよびMFA対応アプリケーションが必要です。

●技術支援サービス JP1 Cloud Service/Technical Service メニュー

サービス	説明
導入支援 JP1 Cloud Service/Technical Service - Introduction Support	運用統合のためのコンサルティング、アセスメントを行います。ご要望に応じて、お客さまに合わせた運用シナリオのカスタマイズも行います。
継続改善支援 JP1 Cloud Service/Technical Service - Continuous Improvement Support	導入後に運用品質を維持・改善するための定期的なコンサルティング、アセスメントを行います。ご要望に応じて、お客さまに合わせた運用シナリオのカスタマイズも行います。

●運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration メニュー

サービス	説明
エンタープライズ版 JP1 Cloud Service/Operations Integration - Enterprise Bundle	日立で運用するクラウド上に運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration の環境を構築し、稼働維持を行います。本番環境（マルチAZ構成）と検証環境を提供します。
スタンダード版 JP1 Cloud Service/Operations Integration - Standard	日立で運用するクラウド上に運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration の環境を構築し、稼働維持を行います。本番環境（マルチAZ構成）のみを提供します。
スターター版 JP1 Cloud Service/Operations Integration - Starter	日立で運用するクラウド上に運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration の環境を構築し、稼働維持を行います。本番環境（シングルAZ構成）のみを提供します。
デベロッパー版 JP1 Cloud Service/Operations Integration - Developer	日立で運用するクラウド上に運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration の環境を構築し、稼働維持を行います。検証環境のみを提供します。

●運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration メニュー（追加ライセンス）

サービス	説明
ユーザー数追加ライセンス JP1 Cloud Service/Operations Integration - Additional User License	追加ユーザーライセンスを提供します。基本ライセンスでは不足する場合に、必要数を購入いただきます。
ストレージ容量追加ライセンス JP1 Cloud Service/Operations Integration - Additional Storage License	追加ストレージ容量ライセンスを提供します。基本ライセンスではストレージの容量が不足する場合に、必要数を購入いただきます。
運用シナリオ実行数追加ライセンス JP1 Cloud Service/Operations Integration - Additional Operation License	追加運用シナリオ実行数ライセンスを提供します。基本ライセンスでは不足する場合に、必要数を購入いただきます。
自動化ジョブ実行数追加ライセンス JP1 Cloud Service/Operations Integration - Additional Automatic Job License	自動化ジョブ実行数ライセンスを提供します。基本ライセンスでは不足する場合に、必要数を購入いただきます。
AI拡張機能ユーザーライセンス JP1 Cloud Service/Operations Integration - AI-Extension User License	ユーザーに対してAI機能の利用を付加するライセンスを提供します。基本ライセンス、またはユーザー数追加ライセンスでOps Iを利用可能なユーザーのうち、AI機能を利用するユーザー数分購入いただきます。

- Amazon Web Services、AWS、Powered by AWS ロゴ、および Amazon Inspector は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- Ansible is a registered trademark of Red Hat, Inc. in the United States and other countries.
- Google Cloud は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Azure、Excel および Windows Server は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- その他記載の会社名、商品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

- 本カタログで紹介する運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration は、日本でのみ販売しているサービスです。
- 記載の仕様は、改良などのため予告なく変更することがあります。
- 掲載している画面イメージは、実際の画面の色調とは異なる場合があります。
- 輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。
- JP1 Webサイトで最新情報をご確認ください。

END

統合システム運用管理

運用統合

運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration のご紹介
～オンプレミスとマルチクラウドのハイブリッド環境における統合的な運用管理を実現～

株式会社 日立製作所

GSA25j-06 | 2026.4